

## [RMAN] による

### 不完全リカバリ（特定時点でのデータベース回復）

この操作は、データベースのリカバリ時に使用する場合と、データベースが正常でも誤った処理を取り消したいために、特定の時点まで戻ってデータを整備するために使われる

#### 【ログ順序番号を指定しての復旧方法】

##### 1. RMAN 接続

```
rman target /
```

##### 2. データベースのマウント

```
RMAN> STARTUP mount ;
```

##### 3. データベースのリストア

```
RMAN> RESTORE DATABASE ;
```

##### 4. 復旧のためのログ番号セット

```
RMAN> SET UNTIL SEQUENCE 99 THREAD 9 ;
```

※ シーケンス番号とスレッド番号は、3. の RECOVER 操作を行った時に表示（中断メッセージ）された値を使用する

この直前のアーカイブ Redo ログまでが適用される

**【注意】** SET UNTIL コマンドは、RUN { } でくくられた実行ブロックの中で使用する必要があります（RECOVER コマンドと一緒に使うこと）

##### 5. データベースのリカバリ

```
RMAN> RECOVER DATABASE ;
```

##### 6. データベースのオープン

```
RMAN> ALTER DATABASE open RESETLOGS ;
```

## 【特定時間を指定しての復旧方法】

### 1. 環境変数の設定

環境用変数 NLS\_DATE\_FORMAT を設定

(Windows の場合)

```
set NLS_DATE_FORMAT = YYYY-MM-DD:HH24:MI:SS
```

※ DD と HH24 の間は、必ず : (コロンのこと)

‘(シングルクォーテーション) 等で囲まないこと

(UNIX の場合)

```
NLS_DATE_FORMAT = YYYY-MM-DD:HH24:MI:SS
```

```
export NLS_DATE_FORMAT
```

~~(参考: SQL/PLUS の場合)~~

```
alter session set NLS_DATE_FORMAT =  
YYYY-MM-DD:HH24:MI:SS
```

### 2. RMAN 接続

```
rman target /
```

### 3. データベースのマウント

```
RMAN> STARTUP mount ;
```

### 4. 復旧のための指定時刻セット

```
RMAN> SET UNTIL TIME '2007-01-01:00:00:00' ,  
'YYYY-MM-DD:HH24:MI:SS' ;
```

※ 指定する時刻は、復旧させる直前の時刻を指定する

この直前の時刻までのアーカイブ Redo ログまでが適用される

**【注意】** SET UNTIL コマンドは、RUN { } でくくられた実行ブロックの中で使用する必要があります ( RECOVER コマンドと一緒に使うこと )

### 5. データベースのリストア

```
RMAN> RESTORE DATABASE ;
```

### 6. データベースのリカバリ

```
RMAN> RECOVER DATABASE ;
```

### 7. データベースのオープン

```
RMAN> ALTER DATABASE open resetlog ;
```

## 【特定の SCN 番号を指定しての復旧方法】

### 1. RMAN 接続

`rman target /`

### 2. データベースのマウント

`RMAN> STARTUP mount ;`

### 3. チャネルの確立

RMAN と DB インスタンス間のチャネルを確立する

`RMAN> ALLOCATE channel ;`

### 4. 復旧のための SCN 番号の指定

`RMAN> SET UNTIL SCN <SCN 番号> ;`

※ シーケンス番号とスレッド番号は、通常の RECOVER 操作を行った時に表示された値を使用する

**【注意】** SET UNTIL コマンドは、RUN { } でくくられた実行ブロックの中で使用する必要があります ( RECOVER コマンドと一緒に使うこと )

### 5. データベースのリストア

`RMAN> RESTORE DATABASE ;`

### 6. データベースのリカバリ

`RMAN> RECOVER DATABASE ;`

### 7. データベースのオープン

`RMAN> ALTER DATABASE open resetlog ;`